

10 理科教育センター

1 運営の方針

自然のしくみに興味・関心を高め、すすんで探究しようとする子どもの育成

- 市内園・小・中学校の幼児児童生徒を対象にした事業を実施して、様々な自然の事物・現象や理科学習に対する興味・関心を高め、自然にふれることを楽しみながら自ら自然を調べようとする態度や能力の育成をめざす。そのため、小・中学校教職員の研修の機会を多様に設け、理科教育に関わる指導力の向上に資するとともに、「体験型理数教育」を推進する。

また、市民対象の事業を推し進めて、広く自然の認識や理科教育への啓発を図る。

2 運営の重点と施策

- A 自然の事物・現象や理科学習に対する児童生徒の興味・関心や探究意欲を高めるため、事業内容の一層の充実を図る。また、学習相談に応じて必要な情報を提供する。
 - B 教職員の理科指導力の向上に資するため、理科指導の今日的な課題に着目した研修の機会を設ける。また、各校の要請に応じて支援活動を行う。
 - C 市民を対象に、自然のしくみを楽しく学ぶ機会を設けて参加を促し、理科教育や環境教育への理解の深化を図る。また、自然観察活動等に関する相談に応じる。
 - D 理科教育の充実に資するため、施設設備の開放と備品の貸し出し、関連資料の収集・提供を行う。
- ※ 「理数大好きモデル地域事業」の成果を普及・発展させ、授業改善に関する研究や地域の特色を生かした啓発事業を継続する。

3 事業計画

- A 児童生徒関係事業
 - ① 移動理科教室……当センターの施設設備を活用した理科授業を支援し、児童生徒の学習活動の充実を図る。 *自然科学学習室Ⅰ、Ⅱでの観察、実験等への支援
 - ② 観察・実験学習会……身近な素材を活用した観察、実験に取り組みせ、自然の事物・現象に関する興味・関心と観察力や想像力の育成を図る。 *小学校中学年・高学年対象
 - ③ 科学作品展……児童生徒が自然や科学への興味・関心を抱き、継続的に観察、実験を行ってまとめた作品を展示公開し、研究や制作の発想や過程、自然への対し方等を互いに学ばせ、更に深く追究しようとする意識の啓発を図る。
 - ④ 児童生徒理科研究発表会……児童生徒が自然の事物・現象に疑問や課題をもち、予測しながら科学的に調べたり、結果を理論立ててまとめて発表したりする能力や態度の育成を図る。
*理科教育研究会との共催、「科学の芽」の発刊
- B 小・中学校教職員関係事業
 - ① 理科指導担当者研修会……理科学習指導の充実のために、観察、実験の技能と指導の方法に重点をおいた研修会を長期休業中並びに年数回計画し、指導力の向上と授業の改善に資する。
 - ② 理科学力向上対策…各校の理科の学力の実態を把握し、学力向上のための対策を検討し、各校への支援と授業改善のために学校訪問を行う。
- C 市民対象事業（児童生徒含む）
 - ① プラネタリウム教室……季節ごとの特徴的な星座や天体の運行について、プラネタリウムによる学習の機会を提供する。
 - ② 天体観望会……天体望遠鏡などを活用して天体や宇宙を探る楽しさにふれ、大自然への興味・関心を広げる機会を提供する。
- D その他の主な事業
 - ① 理科経営や理科学習指導、理科環境整備等に関する相談・支援。資料の収集と提供。
 - ② 児童生徒の理科学習や理科研究・作品製作等に関する相談や援助。
 - ③ 市民の自然観察や実験、研究に関する相談や支援。
 - ④ 身近な生物の飼育展示や保有備品の貸し出し。

※ コスモワールド、アクアパル等教育機関との連携事業の推進。